

政務活動費収支報告書

令和6年3月31日

富士宮市議会議長 諏訪部孝敏 様

会派名称 富岳会

代表者氏名 白井由紀子

令和5年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

- 1 収入
政務活動費 825,000 円
- 2 支出



項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費		
資料購入費		
会議費		
事務費		
調査旅費	350,370	視察旅費
その他経費	9,400	視察の土産代
合計	359,770	

3 残額 465,230 円

令和 5 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項 目	内 容	収入金額	支払金額	残 高
5	17	政務活動費	政務活動費3人分	825,000		825,000
10	12	調査旅費	宮崎県・鹿児島県視察旅費		350,370	474,630
	14	その他の経費	視察の土産代		9,400	465,230
			合 計	825,000	359,770	465,230

収入金額	825,000 円
支出金額	359,770 円
差引残額	465,230 円

令和5年 5月 17日

令和5年度 富岳会 年間計画

1. 先進地視察（調査事項）

- ① 環境（再生可能エネルギー先進事例・畜産糞尿のエネルギー化等）
- ② 国土利用計画と自治体の地区計画の先進地視察
- ③ コロナ後の観光戦略

2. 研修会

- ① 議員研修・セミナー等への参加
- ② 各種学会主催の講演会への参加
- ③ その他

3. 資料等購入

- ① 議員活動関連書籍等の購入
- ② 自治体情報月刊誌の購入
- ③ 市内地図等の購入

4. 事務用品購入

- ① 筆記用具等・文房具全般
- ② その他

富岳会

代表者 白井 由紀子

会 計 小松 快造

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第41号の2

令和5年5月17日

富岳会

代表者 臼井 由紀子 様

富士宮市長 須藤 秀 忠

令和5年5月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、
下記のとおり決定したので通知します。

記

令和5年度交付決定額 82万5,000円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	825,000 円
内 容	政務活動費3人分 小松快造 佐野和彦 白井由紀子
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和5年 5月 17日
摘 要	

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	350,370円
内 容	宮崎県南国興産株式会社、宮崎県小林市、南九州市行政視察の為の旅費
目 的	宮崎県南国興産株式会社 資源循環事業について 宮崎県小林市 ハッシンコバヤシシプロジェクトについて 南九州市 知覧茶の販路開拓及び生産促進について 知覧特攻平和会館について 記念館という建物について
支 出 先	臼井由紀子ほか2人
支払年月日	令和5年10月12日
その他特記事項 (参加者・人数等) 臼井由紀子、小松快造、佐野和彦	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証	
富岳会 様	
R5年10月12日	
金額	¥ 110,160
但し 航空券代として 3名分 上記の金額正に領収いたしました。	
現金	
小切手	
手形	
株式会社 ふじ観光プラン 代表取締役 橋本武洋 〒418-0001 静岡県富士宮市万野原新 TEL.0544-26-6755	

視 察 申 請 書

		予算項目	調 査 旅 費
起 案	令和 5 年 10 月 2 日	決 裁	令和 5 年 10 月 2 日
所 属	氏 名		備 考
1	富岳会	臼井由紀子	
2		小松快造	
3		佐野和彦	
4			
5			
視察市町村	視 察 先	目 的	
宮崎県都城市	南国興産株式会社	資源循環事業について	
宮崎県小林市	小林市役所	ハッシンコバヤシシプロジェクトについて	
鹿児島県南九州市	南九州市コミュニティセンター知覧文化会館	知覧茶の販路開拓及び生産促進について	
鹿児島県南九州市	知覧特攻平和会館	記念館という建物について	
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
宮崎県都城市、鹿児島県南九州市		令和 5 年10月16日	令和 5 年10月18日

政 務 活 動 費 用

視察報告書

会派名	富岳会
-----	-----

視察 年月日	令和5年10月16日(月)
視察先	宮崎県都城市「南国興産株式会社」
参加者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	1. 目的：「資源循環事業」について 2. 訪問先：南国興産株式会社 代表取締役社長 弓削 昭男様 取締役 道辻 純一郎様 営業部 部長 松田 英人様 営業部肥料営業課課長 増田 誠四郎様 環境・品質管理部部長 山浦 健様 営業部肥料営業課係長 増丸 雅文様 肥料部肥料開発班係長 早川 亮司様 3. 事業概要 地域が困ったことや必要としている事を考え、形にすることで時代が求めるものへとつながる。南国興産は農畜産分野から生まれる副産物を肥料・飼料・油等へ再生するレンダリング事業や悪臭や環境汚染にもなっている鶏糞及び畜糞を燃焼して発電するボイラーの設置、その熱源を利用した飼料製造装置の導入等、環境・施設の近代化を図りながら資源循環型社会の構築を目指している。 4. 質疑応答 ・具体的な取組事例について 食肉加工場でカットされた牛や豚の脂身は、搬入後加熱圧搾処理され、分離された油脂分は各々牛脂、ラードとなり食用油脂の原油として油脂精製工場へ出荷される。 圧搾後に油脂分のほか固形分が発生するが、この固形分はミートミール(動物性高蛋白質)としてペットフード等へ利用している。 ・悪臭などの苦情はあるのか。 社長の自宅が最も近い住宅の為、常に住民より先に社長よりの苦情で対応している。 ・行政はどの程度関わっているのか。 旧高城町(合併前)より誘致企業として発足。(魚粉工場として起業したのが始まり)BSE検査場を工場内に設置している。 ・処理量と処理能力について 1日1,300t (うち、600tは鶏糞→オイル・ミールとして出荷、ボイラーの燃料)

5. 社内見学

敷地面積15ヘクタール、東京ドームおよそ3.2個分の大規模な工場に工場排水処理施設、鶏糞発電ボイラー、畜糞発電ボイラー、BSE検査場、スプレードライ工場、食用油脂工場など様々な施設がある。

6. 富士宮市での応用

北部地域に余剰堆肥が多い為南国興産を誘致出来たら良いと思った。しかしあまりに規模が大きい為、現実はどうなるか疑問であるが。

研修報告書

会 派 名	富岳会
-------	-----

研 修 年 月 日	令和5年10月17日(火)
研 修 名	宮崎県小林市「総合政策部地方創生課視察」
参 加 者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>1. 目的：ハッシンコバヤシシ!! プロジェクトについて</p> <p>2. 訪問先：小林市総合政策部地方創生課 総合政策部地方創生課課長 松田和弘様 小林市市議会議長 吉藤洋子様 小林市市議会事務局 四本祥子様</p> <p>3. 事業概要 小林市の認知度向上やシビックプライドの醸成を図り、関係人口の拡大に繋げる事業 基本的な概念 市民をはじめとする様々な人を巻き込んだプロモーションを展開。主なツールとして、市民主演の形で自主製作した「ハッシンコバヤシシ!!」コンセプトムービーは、ローカルCM大賞を受賞。小学生による魅力発信パンフレット制作やZ世代の感性で市の魅力を伝える高校生記者クラブの活動、小林市出身の著名人によるPR活動の取り組みなどを行っている。</p> <p>4. 質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションの動機、経緯 人口減少に伴い行政や関係団体だけでなく、市民や出身者を含めた多くの人々が小林市の魅力発信を展開することで郷土愛の醸成や関係人口の拡大に繋げていきたい。2015年公開された「ンダモシタン小林」は自治体PR動画の先駆けとも ・広報戦略について コンセプトとして 発信（みんなでハッシン） 発進（新たな形で情報ハッシン） 発振（ハッシンの波を起こす） “ハッシン”をキーワードに多様な人と一緒になって小林市の魅力を広める ・ハッシンコバヤシシ!! プロジェクトでどのような効果があったのか。 2015年「ンダモシタン小林」では、SNS上で290万回再生超えを記録し、多くの人に魅力を認知させることができ、移住者も来訪する人も増加傾向にある。 出身者である蛙亭イワクラさんや吉野北人さんを特別PR大使になって頂いたことで動画再生数25万回以上、市公式SNSフォロワー5倍以上増加、イベント参加で来訪延べ2200人以上になった。 ・今後の展望と富士宮市に転用可能か。 「予算を極力かけずに自分たちで考え実践していく」ことを共有してまずは我々職員が楽しみながら色々な人と一緒になって

	<p>成長したい、市民や関わりのある人すべてが市の広報担当者という考えで行っている。</p> <p>富士宮市でも今ある資源に目を向け、出身者、市民すべてが広報担当者であることは可能。</p> <p>・庁舎内見学</p> <p>地元産のヒノキやスギで2017年6月に竣工された地上3階の庁舎、議会棟は2000㎡の木造でぬくもりある洗練された建物</p>
--	---

研修報告書

会 派 名 富岳会	
研 修 年 月 日	令和5年10月17日(火)
研 修 名	鹿児島県南九州市「知覧特攻平和会館視察」
参 加 者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子、
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>1. 目的：現在もウクライナ、イスラエルなど戦争の続く現状を見て、私たちがこの地を訪れ恒久平和の大切さ、それを活かして後世へ伝えていくべきか考えるため、また、記念館という建物について学ぶため</p> <p>2. 訪問先：知覧特攻平和会館 館長 塗木光久様 係長 塗木清久様 管理部 川床剛様</p> <p>3. 事業概要 第2次世界大戦末期の沖縄戦で人類史上類の無い爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員の遺影、遺品記録など貴重な資料を収集・保存・展示し、当時の真情を後世に正しく伝え、世界の恒久平和に寄与する事業を行っている。</p> <p>4. 質疑応答 ・ 設立の目的及び経緯について 陸軍特別攻撃隊員の遺品・関係資料などを保存・展示しその記録を後世に残し、その史実をとおして、「二度と悲惨な戦争を起こしてはならない」という平和のメッセージを発信し、平和の大切さ、命の尊さを語り継ぎ、世界恒久の平和に寄与することを目的に</p> <p>昭和40年代 「特攻銅像の建立」と「遺品館」建設を浄財により計画したが、昭和48年に始まった第1次オイルショックに直面し、計画は頓挫</p> <p>昭和49年 運動公園の休憩施設を利用し、「特攻遺品館」を建設</p> <p>昭和61年 「知覧特攻平和会館」と改称し12月に仮会館</p> <p>平成元年 別館増築</p> <p>平成3年 視聴覚室増築</p> <p>平成8年 疾風展示室の増築</p> <p>平成15～21年 改修工事、トイレの増設工事</p> <p>平成30年 展示充実事業、</p> <p>現在に至る</p> <p>・ 総工費について（昭和60年から平成30年までの合算） 事業費 1,190,787,000円 （内訳：工事費1,068,986,000円、委託料55,860,000円、その他74,155,000円）</p> <p>財源内訳 起債 531,700,000円 一般財源 149,399,000円 その他 517,902,000円</p> <p>・ 年間管理費について 令和4年決算 104,658,000円</p> <p>・ 入場者数とその年齢層の変化について</p>

平成 20 年までは増加の傾向にあったが、それ以降減少傾向である。コロナ禍であった令和 2、3 年は大きな減少がみられたが現在は回復傾向がみられる。昭和 51 年から令和 4 年までの累計は 20,609,553 人
開館当初は、戦争体験者や遺族の方々が多かったが、現在は学校の平和学習の場としての利用や観光ルートの一施設としての利用がみられる。

・運営状況について

令和 4 年決算

平和会館管理費 104,658 千円
世界の記憶推進費 7,575 千円
スピーチコンテスト 16,721 千円
四式戦闘機「疾風」状態調査 3,916 千円
コロナウイルス感染対策事業費 2,946 千円
職員人件費 32,106 千円
平和基金翌年度積立金 5,944 千円
総事業費 173,866 千円

財源

入館料等 130,526 千円
平和基金繰入 1,891 千円
ふるさと基金 38,503 千円
コロナ交付金 2,946 千円

市の「一般財源」及び「ふるさと基金（平和事業分）」を投入せずに、使用料収入等で館の運営（職員人件費を含む）をするためには、385 千人程度の入館者が必要

また、建物の耐用年数 65 年とした場合の建て替えが到来する令和 32 年に向けて基金を積み立てる必要があることから、毎年 41 万人の入館者を目的としている。

・行政のかかわり

市が直営で運営し、一部業務を知覧特攻平和会館管理組合（組合長：市長）に委託して運営している。

研修報告書

<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">会派名</td> <td style="padding: 2px 5px;">富岳会</td> </tr> </table>		会派名	富岳会
会派名	富岳会		
研 修 年 月 日	令和5年10月18日(水)		
研 修 名	鹿児島県南九州市「市役所茶業課視察」		
参 加 者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	1. 目的：知覧茶の販路開拓及び生産促進について 訪問先：南九州市役所 茶業課 課長 瀬川芳幸様 2. 事業概要 南九州市の茶業は平成19年12月南九州市誕生と同時に国内最大の茶産地となった。現在3,419ha(東京ドーム731杯分)の広大な茶園で614戸の生産者、105の茶工場が13,330t(国内の約17%)の茶葉を生産しており、生産額は約115億円。“ゆたかみどり”は南九州市の温暖な気候に適した品種であり、静岡県にない走り新茶である。 3. 質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・茶業課を設置した経緯とその効果について 鹿児島県の茶産地において、合併前に面積・生産量の最も多い穎娃町と2番目に多い知覧町を併せると国内最大の茶産地となることから、茶に特化した課が行政に必要との声が町民から上がり、統一した施策を展開するため合と同時に新設されました。(合併前は、農林水産課・経済課内の茶業係であった) 三つのお茶銘柄を統一するため、国内外のロイヤリティ(認知度・信頼性)の向上、流通市場のニーズ(ロットと品質)の対応並びに地域経済化の活性化を図るため10年間協議され、平成29年4月に「知覧茶」に統一し、一本化した諸施策が可能となった。 特徴的なのが、茶専門技術吏員が職員として配置され技術指導も兼ねて茶農家の高位平準化が図られている。 ・茶業転換の状況について 茶農家は10年間で35%の減少、平均年齢59.6歳、栽培面積も10年間で45haの減少、茶販売額も令和2年は史上最低の89億5千万円になっている。無人摘揉機・中刈機などのスマート農業の実践による超省力化生産に力を入れているがキャベツ、人参、加工大根、オクラなどに転換した茶農家もある。 ・ブランディング戦略について 「知覧茶」ブランドの強化を図るため、新しい生活様式に合わせた商品開発や効果的な販売戦略・PR活動を推進すると共に、海外市場への展開に向け、輸出企業との連携や地域おこし協力隊による知覧茶公式webサイト等を積極的に活用し、オンラインによる知覧茶新茶お披露目会・知覧茶アンバサダー・知覧茶マルシェを開催し知覧茶ファンづくりの強化に取り組む。 シンガポールにおける鹿児島茶テスト輸出事業・新茶フェア事業、知覧茶と観光の連携推進 お茶文化の再構築や他分野と融合した取り組みなど総合的に推進する。(TEA RABO 若い消費者向けのセミナーや知覧茶ツアーの実施) ・農協とはどの程度関わっているのか 		

	<p>荒茶流通の約7割は農協を通じて県茶市場、茶問屋、静岡市場などに出荷している。農協・市役所・県出先機関が組織する南九州市農林技術連絡協議会において、課題解決や茶業振興を図るための諸施策を立案し農家へ指導普及している。旧町単位に三つの支部を置き、月例会を開催し情報等の共有を図っている。農協は現場での茶農家指導を行い信頼が厚い。</p>
--	---

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	9,400 円
内 容	行政視察の土産代
目 的	南国興産(株)、小林市、南九州市、知覧特攻平和会館の行政視察の土産代として
支 出 先	株式会社もちのき
支払年月日	令和 5 年 10 月 14 日
その他特記事項(参加者・人数等) 菓子代2350円×4個	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 書

R5年10月14日

富岳会

様

¥ 9,400 -

収 入
印 紙

※軽減税率対象品
但 ※菓子代 2,350 × 4ヶ分

<軽減税率8%分> (税抜商品金額) ¥ 8,704	(消費税額) ¥ 696
<10%分> (税抜商品金額) ¥	(消費税額) ¥

上記の金額正に領収致しました。

本社・富士宮市小泉22
株式会社 もちのき
登録番号: XXXXXXXXXX
松野店